

立直しを目的とする市電更生委員会の設置の項目が附記され、た事に依つて知る事が出来るのである。

我等は之れを單に調停案の一種の社會儀禮的な空文として、奪り去る事なく此の委員会の成立を助成しなければならぬ。併して此の委員会に對しては我等の有所る今日迄の意見を大衆的に反映せしめ委員会を通じて財政立直しの誤り無き方を可及的速かに樹立する事が急務である。

かくて今日迄暨を大にし絶叫せる市電財政の根本的更生實現の具體的運動を我等の生命線として進めなければならぬ。併し乍ら此の委員会が稍ともすれば單なる空文に終る危険性が多分にある、それには常に大衆の壓力に依る嚴重なる、監視と、大衆行動に依つて實現せしめなければならぬ。

(五) 團體協約締結に對する認識

我が東京交通労働組合は昭和八年度大會に於て團體協約締結に關する方針を決定し、一路其の完成へと進んで来たのであるが今日に於ては未だ其成果を得るに至らないのである。惟ふに此の團體協約締結の意義は東京市電のごとき公共性をもち事業に於て殊に重要性をもつのである。すなはち當局と従業員が、闘争することに依つて、其れは直ちに一般市民に影響するといふ特殊性があるのである。事業の圓滿なる運行の上からも必要以上の闘争なくして協定し得る團體協約が如何に有意義であるかを知ることが出来る。然るに頭迷なる歴代の市電理事者は正しく労働組合を認識

たとしても斯く奮戦し得た事は過去に於ける幾多の闘争の訓練と本部を中心とする民主的中央集權組織のためのものでなければならぬ。組合の組織が分權的支部中心主義であつては此の統制は取り得なかつたであらう、我等は中央集權のより強固なる、より組織的な結成のため全力を盡さなければならぬ。

電車、自動車、非乗務の各支部は本部を中心としてより有機的な結合を計り、各支部幹部は協力して精神的にも融和を計らなければならぬ、いやしくも支部及び支部幹部が單獨行動を取ることがあつてはならぬ斯る行爲に對しては斷乎たる處置を執らなければならぬ。

二、労働組合の活動の原泉が組合の財政の確立にある事は今更らいふ迄もない。近時東交における財政状態も甚だ寒心に堪へないものがある、各支部の本部費納入成績のごときも相當遅緩しつゝある、支部は如何なる事情があらうとも本部費は定められたる期日迄には納入し、滞納未納を根絶しなければならぬ。

支部は經常費を事情の許す限り節約し、財政的な融和を計り、組合基金は定期的に徴集し、確固たる財政の確立を計らなければならぬ。

本部支部の財政の確立は今後の闘争の重要な基礎をなすものである、此の義務を果さざるものは權利を主張する事が許されぬのみか組合に對する反逆者として斷乎排撃しなければならぬ。

することなく、ともすればいかゞわしき委員会等を設けて、機動的な機關とし、御用組合化せしめ、労働組合の破壊をくだてる等の傾向を多分に有して居るのである。

既に我々の壓力の反對闘争によつて其の本質を一躍しよつたと云へ、山下局長の乗客待遇改善委員会に藉口する反動機關の設置計畫等は如實に當局理事者の意圖を曝露せるものである。

我々はいかゝる當局の組合破壊の陰謀に對しては徹底的に粉碎しなければならぬ。我々の團體協約締結に對する精神は組合の組織充實と規律ある統制の下に、東京交通労働組合を勢力的に公認せしめ、充分に労働組合の自主性を確認せしめての團體協約の締結でなくてはならぬ。斷じて追従的な屈從的な協約締結であつてはならない。東京市電が財政的危機に當面せる折、此の難局打開は我等の正しき強い力によつて、理事者の蒙を聞き、合理的に事業に協力し産業管理權の獲得にまで進むことに依つて達成せらるゝのである、我等は斯る觀點から執拗果敢に有利の條件による團體協約締結運動に猛進しなければならぬ。

(六) 組合の充實強化と當面の活動

一、我々に於ける労働運動は極度の沈滞状態にある。

我が東京交通労働組合の今回の闘争はこの沈滞せざる空氣に一大警鐘を風打せるの觀がある、此の意に於て今回の闘争は充分の意義があつた。統制上の多少の遺憾の點はあつ

三、今回の闘争を通じて痛感せしめられた事は、闘争中に於ける、大衆行動の訓練である、今日迄の幾多のストライキに於て其の多くは籠城戦術の經驗のみであつた、過去に於ては當局の戦備が不完全なため籠城戦術も有効であり、これを永續せしむる事に依つて相當の効果を納めていたのであるが今日に於ては當局の準備が充實し、スキヤップの動員の如きも失業群増大と相待つて完全に全線の運轉がなされる様になつた、斯の如き状態に於ては従来の籠城戦術のみでは勝利的な闘争は展開し得ない。斯る觀點から今回の第二次ストに於ては大衆行動に依る戦術を擧て、指令されたのであつたが行動上の訓練の點に於て其缺陷を痛感せざるを得なかつた。

我等は常に行動訓練を日常闘争等を通じて行ひ總ての大衆行動を軍隊の如き組織編成に迄充實強化せしめなければならぬ。四、國際危機を目標として擡頭せるフアツシヨ運動は全國の無産階級運動に對立して、あらゆる防衛を試みつゝある、彼等の本質が如何に労働組合運動に對して反動的な役割を演じつゝあるかはハッキリと大衆に認識されて来た。

東京市電内に於ける日本交通従業員組合今回の闘争を通じて遺憾なく彼等の本質を曝露した今日では單にその形骸を止むるのみで其の實體を葬失したのである、一方新日本國民同盟は日本交通従業員組合に取つてかあるべく、東交の組織に喰入らんとし、フアツシヨンの獲得のために狂奔してゐる。彼等如何に粉飾し様共の本質が反動的であり、特權支